

発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁東庁舎内)

〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
TEL (026) 232-5319

編集発行人
宮下和博

防火標語

ひとつずつ
いいね!で確認
火の用心



新年ごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長 宮下 和博

新年明けましておめでとう
ございます。県下77
団、3万4千人余の消
防団員を始め、消防関係
機関の皆様が、令和2年
の新春を、御家族ともど
もお揃いで、お迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

をたがわず携わってまい
りました。

います。

今回の台風では、自然
が引き起こす様々な事象
に対する対応の難しさを
痛感したところですが、
一方で、被災された皆さ
んが、力を合わせて困難
に立ち向かう姿を拝見
し、地域住民の繋がりに
よる防災力強化の大切さ
を、改めて感じた年とな
りました。

昨年、10月に発生しま
した、台風第19号は、河
川の決壊、氾濫等により
5名の犠牲者と道路の損
壊、家屋の倒壊など長野
県内各地に甚大な被害を
もたらしました。被災さ
れた皆様には、改めてお
見舞いを申し上げますと
ともに、一日も早い復興
を心よりお祈り申し上げ
ます。

今年号に、田中長野市
消防団第2方面隊長から
寄稿いただきました。「台
風19号を振り返り」には、
緊迫した状況のなか冷静
な判断により、住民に避
難行動を促し、住民の命
を守った様子が掲載され
ていますが、緊急事態の
中で、自らの命を守りな
がらの避難誘導活動に対
し、敬意を表したいと思

皆様には、それぞれの
地域において、郷土愛と
奉仕の精神のもと、地域
住民の生命、身体、財産
を守るため、日夜献身的
に御活躍されております
ことに、敬意を表します
とともに、当協会の事業
運営に御理解と御協力を
賜り厚く御礼申し上げま
す。

最後にありますが、本
年が災害のない良い年で
ありますよう心から願う
とともに、皆様方の益々
の御健勝と御多幸を祈念
申し上げます。

被災市町村の消防団員
は自ら被災者となりなが
ら、地元住民の救助、避
難誘導、警戒活動に昼夜

12月に開催した第2回
専門委員会、第2回理事

会
長 宮下 和博
業務執行理事
副会長 武井 郁郎
副会長 片山 真
塩川 浩次
古村 幹夫
吉原 英樹
新井 一朋
小林 佳彦
町田 淳
足立 孝幸
北原 政一
勝野 真也
寺嶋 英治
寺島 慶次
切久保達也
長谷川 修
田中 敏勝
高木 芳博
明石 洋一
清水 正
湯本 隆男
青木 弘



謹賀新年

公益財団法人
長野県消防協会

評議員	柿沢 照紀	千葉櫻政彦	滝澤 稔	下起 公平	須賀 真孝
監事	青木 弘	湯本 隆男	清水 正	明石 洋一	高木 芳博
常務理事	新井 一朋	吉原 英樹	小林 佳彦	町田 淳	足立 孝幸
理事	北原 政一	勝野 真也	寺嶋 英治	寺島 慶次	切久保達也
副会長	片山 真	塩川 浩次	古村 幹夫	吉原 英樹	新井 一朋
業務執行理事	武井 郁郎	片山 真	塩川 浩次	古村 幹夫	吉原 英樹
副会長	片山 真	塩川 浩次	古村 幹夫	吉原 英樹	新井 一朋
会長	宮下 和博	武井 郁郎	片山 真	塩川 浩次	古村 幹夫

令和元年台風19号を振り返り

長野市消防団第2方面隊長 田中 博文

私達、長野市消防団第2方面隊は、長野市の東北部を担当し、東部・豊野ブロックの12分団で構成されています。管轄地区内には、千曲川・犀川・鳥居川・浅川をはじめ一級河川や重要な川が数多く流れています。

方面隊としても水防への意識は高く、10月5日には各分団班長以上の幹部を対象とした「第2方面隊幹部研修会及び交流会」で、長野市建設部河川課の金井課長補佐様より「長野市の浸水対策、防災対策」のご講義を受けたばかりでした。

10月12日は朝から雨が降り続き、17時40分正副分団長に各分団詰所に待機が下命され、私も最寄りの東部分署に待機、18時40分積載車にて避難所への住民を誘導する広報活動の下命があり、広報活動中にも避難場所が追加され、避難対象地区も広がっていききました。

防災無線・エリアメールが何度も鳴り響き、時間が経過すると各分団も班長以上から全団員

を招集、地区の区長と連携を取り合い、千曲川の近くの班は戸別訪問をして住民に避難を呼びかける地区もありました。その間各分団長は情勢を報告し続けてくれました。

その中で、長沼分団・飯島分団長より「柳原分署にて待機中に、千曲川の立ヶ花観測所の水位が上昇中、自分も堤防道路まで行き水位上昇を確認、長沼地区に危険が迫っている事を確認した。地域住民に危険を通知し、避難を促すために半鐘を打鳴したい」との申し出がありました。

長野市では警鐘打鳴について団員の安全確保と負担軽減のため、4月より平常時は警鐘を打鳴しないことになっていましたが、相談を受けた私は東日本震災で消防団員が犠牲になった事が頭をよぎり「緊急事態であり住民の生命を守るために打鳴を許可するが、打鳴する団員の安全を確保してほしい」と指示しました。

飯島分団長以下4人が、降雨

の火の見櫓に登り5分間半鐘を連打。すると「自宅で様子見たつた住民が急いで車に乗り避難行動をとり始めた」との連絡が警戒・広報中の積載車よりあつたと聞きました。

翌13日早朝のテレビ報道で穂保地区の堤防決壊、広範囲に浸水被害の発生を見ました。

自衛隊のヘリコプターやボートで大勢の住民が救出されましたが、長沼地区ではお二人が犠牲となつてしまいました。心よりお悔み申し上げます。

人命救助のために県内各地から集結された長野県消防相互応援隊の皆様、復旧支援活動に力を貸してくださった県内の消防団員の皆様に心より感謝申し上げます。

長沼・豊野では、住宅・リンゴ畑・農地が被災した団員も大勢おります。復旧までは長い長い道のりですが頑張っていきたいと思います。



被災した長野市消防団長沼分団詰所
(堤防決壊場所から約80メートル北側)

第2回理事會

公益財団法人長野県消防協会の令和元年度第2回理事會を令和元年12月13日(金)長野市のホテル犀北館で開催しました。

第1号議案の台風19号に伴い被災した消防団員への見舞金及び義援金(募金)について、第2号議案の台風19号に伴う、日本消防協会、新潟県消防協会からの支援金の各消防団への



の配分について、第3号議案の令和元年度長野県女性消防団員活性化大会について、第4号議案の令和2年度事業方針について、それぞれ協議し、原案のとおり決定しました。

総務専門委員会関係

①基金運用、日本消防協会・県消防協会定例表彰、消防団員の活動に対する事業所等への協力依頼について、従来どおりとします。

②令和元年度に、県消防協会ホームページの見直しを行いました。協会のSNS(フェイスブック)をホームページのトップ画面に掲載し、協会主催の事業、関係機関が主催し協会役員等が出席する事業、地区消防協会の事業、各消防

団の事業等について、積極的に広報活動を行います。

③女性消防団員の活性化について平成30年度に立ち上げた女性消防団員活性化会議を引き続き開催します。

また、令和2年2月2日(日)に開催する「長野県女性消防団員活性化大会」の検証及び今後の進め方について、活性化会議で検討していきます。

④県関与については、事業費補助及び県による協会事務局運営への参加を引き続き要望します。

⑤県消防協会定例表彰の記章授与について

県消防協会の定例表彰については、毎年概ね3千人の消防団・消防団員が県協会の基準により受賞されていますが、賞状と合わせて記章を授与しています。近年、「法被」に比べ機能性が高い理由から「活動服」の着用を進める消防団が増加している傾向にあり、実際に記章を授与しても佩用する機会がないとの声が多数あがっていることから、記章の必要性について検討を進めていきます。

教養専門委員会関係

①県消防ポンプ操法大会について令和2年7月19日(日)御代田町の雪窓公園で開催します。

・長野県消防ポンプ操法大会「操法実施要領・操法大会審査要領」に一部変更があります。
・女性によるポンプ操法演技につ

いては、令和元年度は、「東信ブロック」(上田市)からの出場でした。令和2年度は、「中信ブロック」・「南信ブロック」の2地区からそれぞれ出場をお願いし実施します。

②県消防ラッパ吹奏大会について県消防ポンプ操法大会と同日に開催します。

・ブロック推薦審査員については、ブロック内の各地区協会と協議した上で決定し、令和2年3月2日(日)までに県消防協会事務局に報告していただき、3月13日(金)開催予定の第3回理事會の承認をもって正式決定とします。

・長野県消防ラッパ教本については、一部修正があります。
・ラッパ吹奏講習会について、令和2年4月18日(土)県消防学校において、ブロック推薦審査員4名も参加し、実施します。

③県消防ポンプ操法大会・県消防ラッパ吹奏大会の実施方法の検討について
「県消防ポンプ操法・県消防ラッパ吹奏大会のあり方検討会」を設置し、開催方法等について検討を進めていきます。

④第11回県消防団長・事務担当者研修大会について、令和2年10月30日(金)に千曲市のホテル圓山荘で開催します。

⑤副団長講習会は、従来から、東信・北信(消防学校)、中信・南信(持ち回り)でそれぞれ開催してきましたが、令和2年度から、1箇所

とし、県消防学校で令和2年6月13日(土)に開催します。

⑥消防団員指導員研修は、令和2年12月14日(月)・15日(火)県消防学校において40人規模で開催します。

⑦消防団幹部特別研修は、令和3年1月12日(火)～15日(金)東京都で行われますが、「中信ブロック」からの参加になります。

⑧消防団幹部候補中央特別研修は、令和3年2月17日(水)～19日(金)東京都で行われますが、「東信・北信・南信ブロック」からの参加になります。

⑨第27回全国消防操法大会は、令和2年10月16日(金)千葉県原市の千葉県消防学校で開催されます。出場種目は小型ポンプの部で、第62回県消防操法大会小型ポンプの部優勝チームが参加します。

⑩第26回全国女性消防団員活性化徳島大会は、令和2年11月19日(木)20日(金)徳島市「アスティとくしま」で開催されます。本年度同様、日消の情報交流会参加の女性消防団員1人につき5,000円の助成をします。

福利厚生専門委員会関係

①日本消防協会の消防団員等福祉共済、消防個人年金、婦人消防隊員等福祉共済及び全日本消防人共済会の火災共済の加入促進を図ります。県等と共催で、市町村消防団事務担当者を対象とした消防団員等公

務災害補償等実務研修會を12月頃に開催します。

②県消防関係殉職者慰霊祭は、令和2年9月4日(金)長野市花岡平慰霊碑前で行います。評議員・正副会長・理事・監事の出席をお願いします。県消防長会と共催することとし、令和2年度は、県消防協会が当番となります。

③第39回全国消防殉職者慰霊祭は、令和2年9月17日(木)ニッショーホールで行われます。ご遺族の出席は5名程度となります。

④信州消防団員応援ショップ事業に対する、広報等を積極的に実施していきます。

⑤日本消防協会の福祉共済、県消防協会の弔慰金等について、請求漏れのないよう周知徹底を図ります。

長野県消防協会参与會

長野県消防協会参与會を10月29日(火)長野市「長野ホテル犀北館」において、9名の参与が出席し開催しました。なお、会長、副会

長の任期満了による改選の結果、五十嵐幸男参与(上田市)が会長に、中澤學参与(長野市)が副会長に選出されました。



消防団員等公務 災害補償等実務研修会

日本消防協会等が行っている「消防団員等福祉共済」や「火災共済」等について、県内消防団員の加入促進を図るための実務研修会を、12月2日(月)に松本市において開催し、39名の市町村担当者の皆さんが参加されました。



消防団員指導員研修

新入団員等経験の浅い消防団員の教育訓練に当たる指導員となる幹部の研修会を12月17日(火)・18日(水)に県消防学校で開催しました。幅広い消防経験に基づいた宮下県協会長の講話の他、地域防災力の向上のための講座として、長野県危機管理本部危機管理防災課太田防災指導員から、「消防団の現状・災害クロスロード」について、消防学校職員から、「最新の火災防ぎよ」、「車両破壊時の資機材取扱いと安全管理」、「救命法・応急救護、搬送など」等について



て御指導をいただきました。33名の方が研修を修了し、全員に指導員章を授与しました。

日本消防協会秋本会長 台風第19号災害現場視察

日本消防協会の秋本会長、三輪理事長、銀川業務部長が、12月24日(火)に、台風第19号災害で被災した、長野市長沼地区、豊野地区を視察され、地元消防団等と意見交換を行いました。また、阿部長野県知事、加藤長野市長との面談も行われました。



消防出初式

消防出初式が県下77市町村中73市町村で実施されます。正月の伝統行事ともいえる出初式ですが、豪雪地域の6町村では4月に実施されます。

今年も阿部守一知事、太田寛副知事、小岩正貴副知事が各地の出初式に出席し祝意を述べ激励されました。知事、副知事の出席市町村は次のとおりです。

- 知事 東御市、須坂市
- 太田副知事 安曇野市
- 小岩副知事 小海町



須坂市消防出初式
1月12日(日)

第24回全国女性消防操法大会に出場して

上田市消防団女性消防隊 隊長 鷲巢 志保

昨年11月13日に横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて開催されました、第24回全国女性消防操法大会におきまして、上田市消防団女性消防隊ペナテスが長野県代表として出場し、47都道府県中16位の成績を収めました。

上田市消防団女性消防隊としては初の全国大会出場であり、選手全員が軽可搬ポンプ操法の初心者、一からポンプ操法を学び「ひとつになろう!」を目標に訓練に励みました。

県大会のエキシビジョンでの操法披露、その後、消防部指導員また団長をはじめとする団本

消防関係者 秋の叙勲

県内から4名受章
県内からは、次の方々を受章の栄に浴されました。

- ◆瑞宝双光章
元 栄村消防団 団長 齋藤 眞吾
- ◆瑞宝単光章
元 松本市消防団 分団長 酒井 基行
- 元 長野市消防団 副団長 曾根 信一
- 元 木曾町消防団 副団長 中田 明男

部、分団長を交えプロジェクトチームが結成され全国大会に向けて訓練がスタートしました。訓練当初は目標のタイムになかなか到達する事が出来ず、選手はどんなことでも確実な自信を掴みたいと試行錯誤を繰り返し、日々悩み、苦しみ、厳しい訓練に励んでまいりました。

規定タイムに入りかけそうな時、台風19号の襲来により上田市全域も大きな災害に見舞われ、訓練を中断せざるを得なくなりました。その中、選手は焦りと葛藤を抱えていました。災害を乗り越え訓練が再開してからは上田市消防が『ONETEM』となり、見る見るうちに規定タイムに入り、全国大会に出場してくる強豪と競い合える操法が出来たのは大会一週間前あたりではなかったかと思えます。訓練で培った力が大会に必ずつながると信じていました。

大会当日は晩秋の緩やかな浜風が流れ込む赤レンガ倉庫広場、そして大観衆に囲まれる



操法会場と長野県から駆けつけてくれた応援団の前で、選手たちは自分たちの力を信じ、持っている全てを出し切り、悔いのない操法が出来ました。結果、タイムは規定内の「54.08秒」と訓練の成果を発揮することができ、全国大会出場の充実感、選手たちとの一体感を感じることが出来たのは一生の経験となりました。

この大会で得た貴重な経験を消防団の活性化に繋げるため、これからも皆様に感謝する気持ちを忘れずに女性らしい活動を中心掛け、励んで参ります。